

大河原町部活動地域移行通信 No. 8

～地域と学校の協働による部活動の推進をめざして～

令和7年3月3日発行

大河原町教育委員会

生涯学習課 TEL53-2758

教育総務課 TEL53-2742

今年度の成果と今後の課題について確認しました

桃の節句を迎え、寒さの中にもほんのり春の気配を感じる頃となりました。春の訪れとともに、休日地域クラブの活動もいよいよ活気を帯びてきました。

さて、先日、今年度3回目の部活動地域移行推進協議会を開催しました。会長（鈴木教育長）の開会の挨拶の中で、「本町の部活動地域移行の取組は、県内自治体の中でも進んでいる状況にある。」という話がありました。宮城県教育委員会の発表によると、県内34ある自治体の中で、部活動地域移行が順調に進んでいる自治体は6団体あるそうですが、その中に大河原町も入っているとのことでした。また、副会長（和田山校長）の閉会の挨拶では、「全国体力・運動能力等調査において大河原町の中学生の結果が良かった。特に、運動することが好きな生徒の割合が昨年度より大きく増え、外部指導者の専門的な指導が生徒の運動意欲の向上につながっているのではないか。」という話がありました。本町の部活動地域移行の推進に御尽力をいただいている皆様に心から感謝申し上げます。



今回の協議会は、主に、今年度の取組を振り返り成果を確認するとともに、今後の課題について話し合われました。昨年4月、外部指導者22名でスタートした休日地域クラブ活動は、現在、42名の外部指導者（兼職兼業の部活動顧問20名を含む）の御協力を得て、ほとんどの部で活動を展開することができており、来年度も継続していくことを確認しました。また、運動系のクラブだけではなく文化系クラブについても話し合わせ、委員の一人、仙南芸術文化センターの玉淵館長からは、「例えば、えずこホールが演奏そのものを楽しみたいという生徒の受け皿になるようなことも考えていきたい。」という話をいただきました。今年度の取組をさらに発展させ、地域全体で支えていくような地域クラブ活動を目指したいです。

「部活動地域移行説明会」を開催しました！



先月、来年度中学校に進学する児童の保護者を対象に、部活動の地域移行に係る説明会を開催しました。御参加いただいた保護者の皆様や、会場や機材を提供していただいた町内の小学校、柴田町立西住小学校の関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

説明会では、大河原町が進める部活動地域移行の取組や、休日地域クラブ活動の現状、部活動改革の今後の行方などについて話をさせていただきました。各校に外部指導者を派遣するシステムを採用している本町の部活動地域移行は、生徒や保護者にとってはこれまでの休日の部活動とほとんど変わらないと感じるかもしれませんが、制度上は大きく変化したことを御理解いただければ幸いです。

大河原町 Web サイト「部活動地域移行」

